

第44回 CMS 学会

ニプロ社製 IoT 保守支援サービス DiaXrs® の導入

～機械室モニタリングとしての有用性～

① 今回の学会・研修の内容

学会テーマ『やさしさのある医療と介護の追求～知識・技術・チーム力に根差した価値がもたらす生産性の向上～』
医療と介護において、知識・技術・チーム力は様々な職種から独自のアプローチにより必要不可欠なことです。その中でも、知識・技術においては、個々の知識や経験から習得可能だが、チーム力は異なる人々や部署との連携により発揮されるものになります。

今回の学会を通してチーム医療・介護の有用性が高いことを示していました。

② 今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

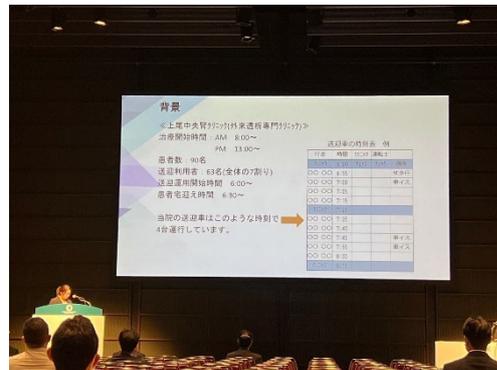
特別講演では、慶應義塾高等学校野球部監督の森林先生が『Enjoy Baseball チーム創り ひと創り～勝ちと価値の両立～』についてご講演いただきました。

講演の中で【勝利至上主義】というワードが多く取り上げられました。勝利するための目標として【チームが日本一、人間力が日本一】になることを掲げ、目標は目的を果たすためのステップの1つになります。

目的は【常識を見直す、恩返し】になります。チームにとって勝ちを追求することで、チームにとって個人にとっての価値も追求でき、たとえ勝負で負けても、そこまでのプロセスが大事となります。

今回の講演で、チーム医療にも当てはまるのが多数あると感じました。業務を行う中で1つ1つの過程を重要視し、目標、目的をもってこれからの業務に臨みたいと思います。

上尾中央腎クリニック 主任 高橋千音 太田医療技術専門学校出身



ニプロ社製IoT保守支援サービスDiaXrs®の導入 ～機械室モニタリングとしての有用性～

I.背景と目的

当院では、透析液作成装置の遠隔監視を目的として、ニプロ社製IoT保守サービス【DiaXrs】（以下DiaXrs）を導入した。主に夜間及び休日の警報発生時の確認ツールとして活用しており、実際に経験した機器トラブル事例から有用性を検証したので報告する。

II.機能

1. 警報通知メール2. 遠隔データ監視3. ビデオ通話4. 保守点検記録簿作成。当院で、警報確認として主に活用している通知メール機能は、機械室装置からの警報発生時に、DiaXrsに登録してあるメールアドレスに警報内容が通知される。当院では臨床工学技士全員のアドレスを登録しており、通知を確認次第、SNS等を用い互いに連絡を取り合い対応に当たる体制を取っている。

III.事例

①始業前の液置換開始時、A粉末溶解装置より警報発生。粉末切り出し部の粉末固着が原因で一時的にA剤粉末が投入されなかった。
②非透析日の日曜夕方、RO装置より警報発生。受水槽のフロートスイッチ故障が原因で、原水の過剰供給により受水槽から水が溢れ、漏水センサーが検知した。
問題点
・通知直後に気付かなかった技士もいた。
・RO装置の警報内容をDiaXrsから確認することは出来ない。

IV.結語

検証の結果、DiaXrsは警報モニタリングシステムとして有用であると判断した。しかし、確実に通知に気づき対応にあたるには、スタッフ間の連携とSNSの活用、そして何よりもスタッフの意識改善が必要となる。